

半田市の魅力を知ろう!

～見て、知って、もっと好きになる～

【問合わせ】企画課 ☎84-0605

今回の特集は、普段何気なく生活していると気が付かない、ふるさと半田の“半田らしさ”や“暮らしやすさ”についてお伝えします。半田市のシティプロモーションキャッチフレーズ、「情熱、蔵出し。半田市。」をキーワードに、ぜひ半田市のいいところを探してみてください!



愛知県No.1の数! 41輦※

※ちんところ舟や夏祭りの山車を含む数



子どもから参加できるので、地域の多世代が触れ合うことができます。当日遊びに行くだけでも楽しめるのが半田の祭りの魅力です。祭りの時期以外でも、半田市立博物館を訪れば、間近に山車を見ることができます。



半田市観光マスコットキャラクター
だし丸くん

日本三大運河! 日本唯一とされる、酢について 楽しく学べる体験型博物館、ミツカンミュージアム



醸造蔵が立ち並ぶ半田運河沿いはきれいに整備され、普段からお散歩をしたり、近くの公園でのんびりしたり、憩いの場になっています。令和4年には新たに人道橋が架かります。その他にも、半田運河キャナルナイトやHOTORIイベントなど、季節ごとに気軽に立ち寄って楽しむことができます。



7,000万人以上に読まれた“ごんぎつね” 新美南吉作品は1,500点超



新美南吉童話「ごんぎつね」の風景を再現した300万本の彼岸花が有名な矢勝川堤ですが、彼岸花以外にも季節ごとに花が咲き、四季を通して童話の里を彩ります。矢勝川堤を歩けば、身近なところで里山の風景を目にすることができ、自然の豊かさを感じることができます。新美南吉記念館を訪れば、全ての作品を読むことができます。



新美南吉童話
イメージキャラクター
ごん吉くん

日本で5本の指に入る規模のレンガ建物 年間来場者数50万人超



旧カブトビール工場である半田赤レンガ建物では、月に1度のマルシェの開催や、ものづくりの楽しさが分かるワークショップなど、親子で楽しめるスポットとなっています。建物内のレストランは21時まで営業していますので、レトロな雰囲気の中で復刻カブトビールや食事を楽しめます。



※新型コロナウイルス感染症の影響がありますので、最新の施設開館状況やイベント情報についての詳細は、ホームページ等でご確認ください。